



ボランティア通信

発行： 障害者支援施設 聖マッテヤ心豊苑
 〒514-0076 津市産品字中之谷 732 番の1
 TEL： 059-237-5000 FAX： 059-237-5078
 URL： <http://www.ztv.ne.jp/w3k3fp9s/>
 E-mail： shinpoen2@ztv.ne.jp
 発行日： 2012年 秋号

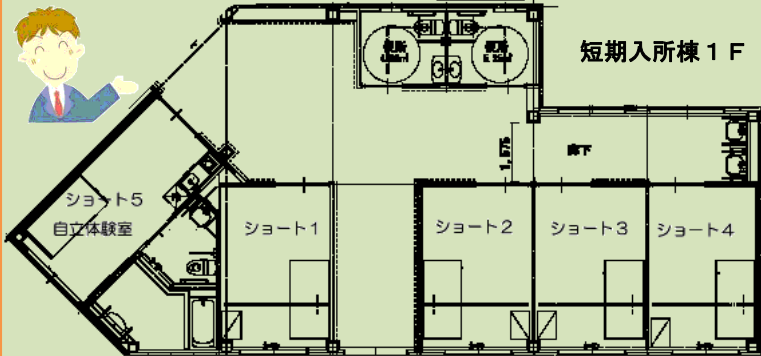


短期入所棟建設に向けて

聖マッテヤ心豊苑 施設長

池田 修一

聖マッテヤ心豊苑は、日常生活で常時介護が必要で、在宅生活が困難な重度の身体障がい者の方を対象とする入所施設として、平成5年に定員50名で開設されました。併せて、定員5名の短期入所事業が、普段は在宅で生活されている方の、介護されている方の疾病その他の理由により、一時的に施設への入所が必要になった際に短期間入所して、入浴・食事・排泄の介護等の便宜を図ることを目的とした施設として



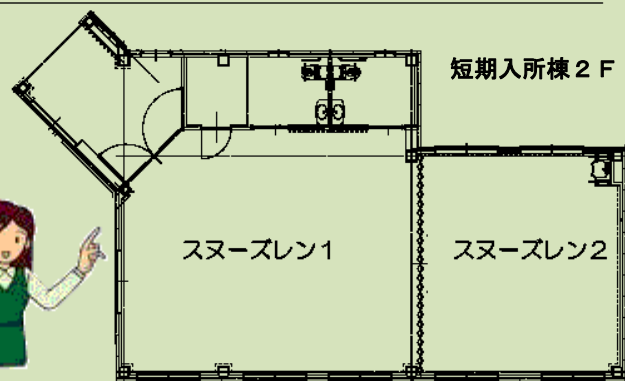
このような歩みの中で、聖マッテヤ心豊苑は地域のセーフティネットとしての役割を担い、地域の皆様に支えられて発展してまいりました。入所施設を核として、短期入所事業のみならず、デイサービスとして生活介護事業所ひかりや、日中一時支援の利用者さんも広がり、平成24年4月からは放課後等デイサービスが障がい児童を対象とした、ひかりクラブとしてスタートしています。また在宅の暮らしの場所まで出向いてのホームヘルプサービスや、相談支援や就業・生活支援センターも連携した支援の提供を行ってまいりました。

て併設されました。平成20年には障害者自立支援法に基づき施設として、聖マッテヤ心豊苑は障害者支援施設として新体系施設に移行しましたが、提供する支援の内容は、引き続き重度の身体障がいの方を対象とした専門性を継続しています。

また、施設入所支援においては、「福祉的包み込み」から本人のエンパワーメントを活かした支援として行くために、「地域移行計画」の策定が個別に必要とされてきました。このような責務に対応していくため、増築される一角に「自立体験室」を設け、聖マッテヤ心豊苑の入所者さんのみならず、地域の入所・入院中の方々が地域生活を目指して、自立のスキルを体験・獲得されていく機能を併せて整備させて頂きたいと考えています。

しかしながら、私たちが取り巻く社会環境は、高齢化が進み、介護者であるご家族の負担も増しており、当事者の方々には在宅生活継続の上で厳しさが増す状況であります。このような状況下で、短期入所事業の御利用者も増えつつあり、5名の定員枠では、誠に残念ながら利用申し込みに対応できない状況が日々発生しています。このため、地域のニーズにしっかり応えていく役割を全うするためには、短期入所棟を増築し受け入れ枠を拡大する事が急務となっております。

更に、限られた敷地スペースを活用するため二階建てとし、日本でも評価が高まってきた統合感覚療法である「スヌーズレン」を臨床応用できる機能を整備し、聖マッテヤ心豊苑の御利用者さんをはじめ、地域に新しいリハビリ機能を提供して参りたいと計画しています。長年の念願としておりました短期入所棟を増築させて頂く運びになりましたことと、感謝を申し上げますとともに、この機会を活かして、私たちは地域へさらなる貢献の拡大を目指す展望を持って、平成24年10月から短期入所棟増築工事に着手し、平成25年2月の完成を目指してまいります。



ボランティア募集

聖マッテヤ心豊苑では、利用者の方々の生活をますます充実させる為に、皆様の趣味や得意分野を活かしたボランティア活動をしてくださる方を随時募集しております。

お気軽にお問い合わせ下さい。

TEL 059-237-5000

《ボランティア内容の一例》

- ・喫茶
- ・料理教室
- ・生け花
- ・お茶会
- ・行事
- ・手芸
- ・園芸
- ・3B体操
- ・日中活動支援
- などの補助



～担当職員より～

生活支援員 山本英世

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より聖マッテヤ心豊苑短期入所事業所の推進に、多大なるご高配を賜り、深謝申し上げます。さて、聖マッテヤ心豊苑では、9月26日から短期入所棟増設工事が始まります。

私は、平成21年4月から短期入所の窓口として務めさせていただいておりますが、年々、短期入所ご利用の需要が増加傾向にあり、利用者様からのご利用予約に対しても、満床を理由に不本意ながらお断りせざるを得ない状況下にありました。その状況を打開すべく、この度、短期入所棟増設の運びとなり、些少ながら地域に貢献できますことに喜びを感じるとともに、サービスの質を低下させることのないよう、利用者様のご期待に添える聖マッテヤ心豊苑短期入所事業所を目指して参ります。

今後とも、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



ふれあいフェスティバル案内

本年度も、11月10日(土) 10時30分～15時00分まで当法人敷地内において「ふれあいフェスティバル」を開催させて頂く事となりました。よさこい、ライブ、チアダンス等のイベントを多数ご用意し、皆様楽しんで頂けるよう準備を進めております。地域の皆様のご来場を心よりお待ちしております。



(昨年のフェスティバルの様子)



<ボランティアさん募集>

ふれあいフェスティバルのボランティアの活動時間は8時30分～16時の間をお願いしていますが、時間帯や津新町駅までの送迎等、個々にご相談させていただきますのでよろしくお願いします。

ボランティアに関するお問い合わせは下記のとおりです。

聖マッテヤ心豊苑

電話番号 059-237-5000

FAX 059-237-5078

担当 伊藤・浦井



スヌーズレンへの取組み

聖マッテヤ心豊苑 理学療法士

国際スヌーズレン協会日本支部 全日本スヌーズレン研究会副会長 西村 知哉

障害者支援施設聖マッテヤ心豊苑のスヌーズレンとは

障害者支援施設聖マッテヤ心豊苑の新しい取り組み

オランダで生まれた多重感覚刺激ルーム(国際スヌーズレン協会)を利用して、障害のある方に対しセラピー(治療)・教育・レジャー(余暇)を目的としてアプローチしていきます。

- セラピーとは、本人が持っている「不安感の減少」「乱暴な行為の減少」「安定剤、眠剤の投与量減少」など、治療をすること。
- 教育とは、本人が持っている能力を引出し高めること。
- レジャーとは、本人の心のまま(自由)に過ごすことやリラックスすること。



具体的に言いますと、一つの部屋に1～8人ぐらい入って頂き、光・音・におい・振動・温度・触覚の素材等を組み合わせ、安心しリラックスして頂き、「休息をとるか」「勉強するか」「治療するか」に分かれます。障害をお持ちの児童(者)へ感覚・情報・運動・コミュニケーション面の発達を支援することができます。

今日、スヌーズレンは日本でレジャーとして浸透していますが、国際的な流れで考えますと教育・セラピーでも研究されて、実績を残しています。当施設でも三重大学教育学部特別支援教育講座の姉崎教授と共同で教育・セラピーの分野を研究実践していこうと考えています。

更に、スヌーズレンによるリハビリの実施・臨床応用研究とともにスヌーズレン国際専門員資格の育成施設(資格発行)として役割を担っていきます。

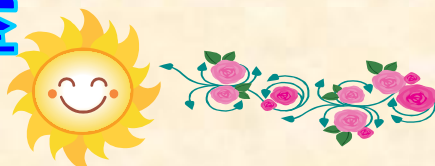
- スヌーズレンの様々な適用の応用実践
- スヌーズレンの効果の測定
- 部屋、音と音楽、アロマの効果
- トラウマのある子供たちの為の支援プロジェクト



以上のようなことを一緒に研究していきたいと考えています。

自立体験室

地域で暮らそうよ!!



自立体験室では、入所施設や病院での生活から、自らの意思と責任で地域の中で暮らしていくための体験が出来ます。一日のリズムは自分で決め、ヘルパーさんやボランティアさんに支えられながらの、自立生活を始めるサポートをします!気軽に相談してください!

Independent Living